

## 2020 年度外部評価委員会を終えて

2021 年 3 月

創価大学 副学長  
全学自己点検・評価委員会 委員長  
鈴木 将史

「創価大学自己点検・評価実施規程」第 12 条第 3 項に基づき、本学の自己点検・評価活動の客観性、公平性を担保するために、外部評価を実施しました。

全学的な取り組みを対象とした総合評価は、翌年度に控えた機関別認証評価の受審を踏まえた評価を依頼しました。

2020 年度に開催した外部評価委員会では、各委員から大要以下のようなご指摘を受けました。

- (1) 内部質保証に関して具体的にどのような実績があるのか詳細が不明である。
- (2) 内部質保証に関する諸機関の関連がわかりにくい。
- (3) アセスメント指標はあるが、現実にはどのように審査・評価されているのか不明である。
- (4) 教学上の取組みに学部・学科間、また教員間においてばらつきがある。
- (5) 学生生活アンケートを含め、外部からアクセスできるデータに限りがある。
- (6) 卒業後の学生の活躍、社会との関わりについて触れてほしい。

(1) (2)については、本学における内部質保証システムの整備が比較的最近のことであることにも起因していますが、今後システムを着実に運用することにより実績を積み重ねていくとともに、不断の点検を進めて必要に応じ修正を図っていきます。

(3) (4)については、全学自己点検・評価委員会のもと、今後各学部のアセスメント状況を把握・分析するとともに、エビデンスに基づく評価について大学としての統一性も追求していく必要があります。

(5) (6)については、教学データの戦略的解析が今後必須となることを踏まえ、外部への説明責任も視野に入れて努力していく必要があります。

これらの点については、内部質保証システムのさらなる実質化への課題ととらえ、優先順位や取り組む時期を明確にしつつ、今後速やかに改善していきます。